

大阪湾広域臨海環境整備センター「大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度」 令和6年度 助成対象の研究の決定について

「大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度」は、大阪湾広域臨海環境整備センターが公益事業の一環として実施しているもので、大学・研究機関等における若手研究者の調査研究に助成を行い、その成果を通じて、大阪湾圏域の海域環境再生・創造に寄与することを目的としています。このたび、令和6年度の助成対象の研究について選考を行いました。本年度の選考結果は以下のとおりです。なお、事務局は特定非営利活動法人 瀬戸内海研究会議が務めました。

◆応募状況

令和6年4月1日から5月7日の募集期間において、12件の応募がありました。

◆選考委員会概要

開催日：令和6年6月14日（月）15時15分～16時30分
神戸市立中央区文化センター 1003 会議室

委員：大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度選考委員 10名
(特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議企画委員)

選考方法：選考委員による採点及び選考委員会での審議

◆選考結果

選考委員会の厳正な審査の結果、今年度の助成対象として7件の研究が採択されました。

表 助成対象の研究一覧

| 申請者名 (申請順) | 所属機関名称 及び役職名 | 助成研究テーマ |
|---------------|---------------------------------------|---|
| 1 中谷 祐介 | 大阪大学 大学院工学研究科 准教授 | 瀬戸内海の COD 管理に資する起源別・形態別有機物の動態解析 |
| 2 板井 啓明 | 東京大学大学院理学系研究 科地球惑星科学専攻 | 大阪湾における生物必須微量元素の環境-生態系循環解析(その2) |
| 3 齋藤 光代 | 広島大学 大学院 先進理工系科学研究科 准教授 | 流域からの栄養塩流出変遷が大阪湾沿岸の栄養塩収支に及ぼす影響の陸域-海域統合評価(その3) |
| 4 廣瀬 孝太郎 | 兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授 | 堆積物を用いた長期の沿岸環境変化とその駆動要因の解析 |
| 5 青木 伸輔 | 香川大学 農学部 助教 | 瀬戸内海・播磨灘全域における表層堆積の特徴:多彩な観測項目によるアプローチ |
| 6 上田 萌子 | 大阪公立大学大学院 農学研究科 准教授 | 大阪湾沿岸における海浜植物の分布の変化と保全に関する研究 |
| 7 近藤 健 | 地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産 総合研究所 主査 | 新規簡易測定法による大阪湾底質の酸素消費速度の水平分布および季節変動 |